

平成24年度学術ポータル担当者研修 2012年8月22日

国立国会図書館サーチ

(モデルサービスの企画意図と技術設計)

国立国会図書館
電子情報サービス課
小澤 弘太

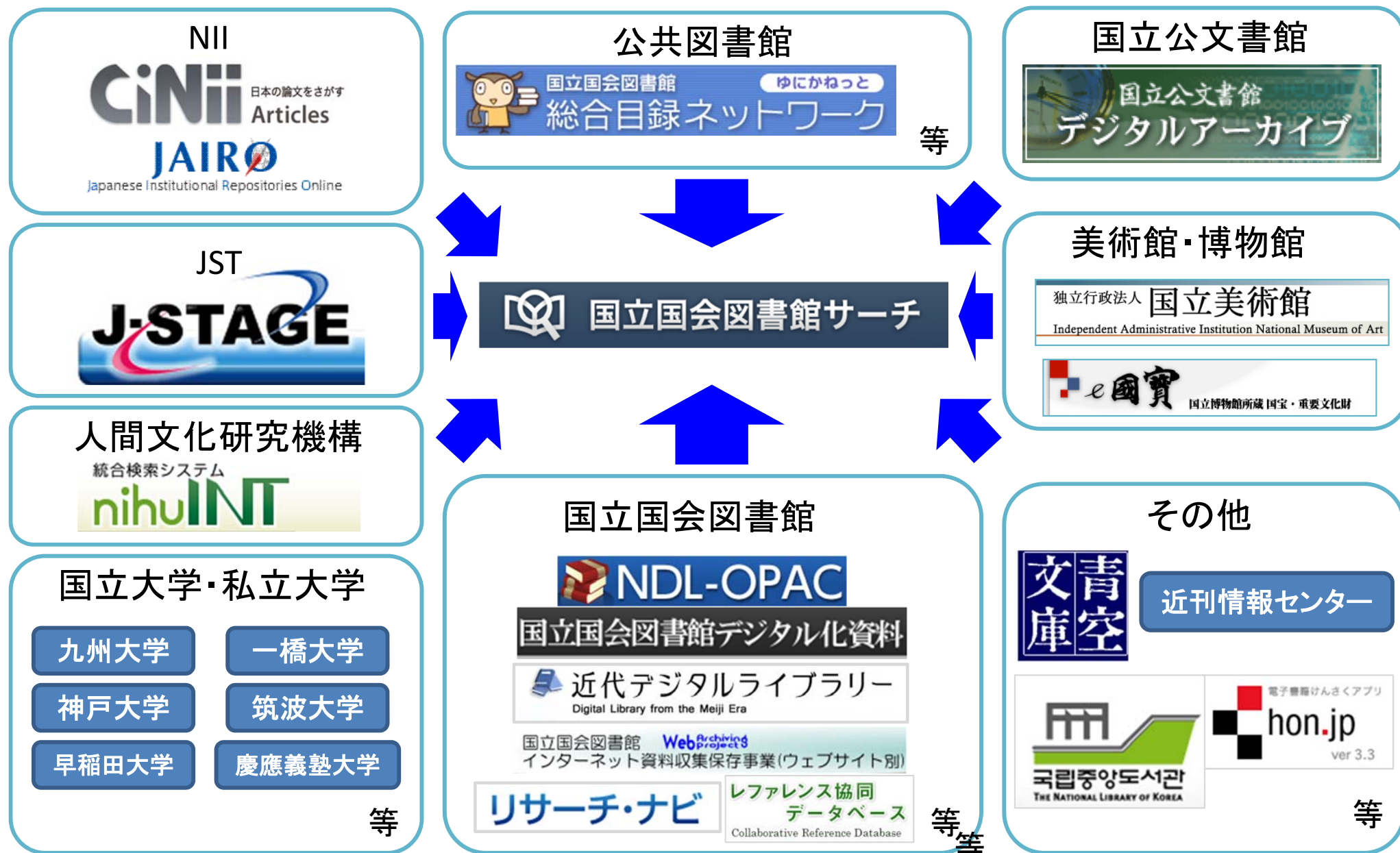
自己紹介

- 小澤弘太(おざわこうた)
- 国立国会図書館電子情報部電子情報サービス課
課長補佐
- 経済学部出身
- 1995年、国立国会図書館に入館
 - 一 調査及び立法考査局財政金融課、主題情報部科学技術・経済課等でレファレンス業務に従事した後、2009年に情報システム課(電子情報サービス課の前身)に配属。以来、国立国会図書館サーチの企画・開発・運用を担当している。2011年10月より現職
- 現在は国立国会図書館サーチの開発等を担当

国立国会図書館サーチとは

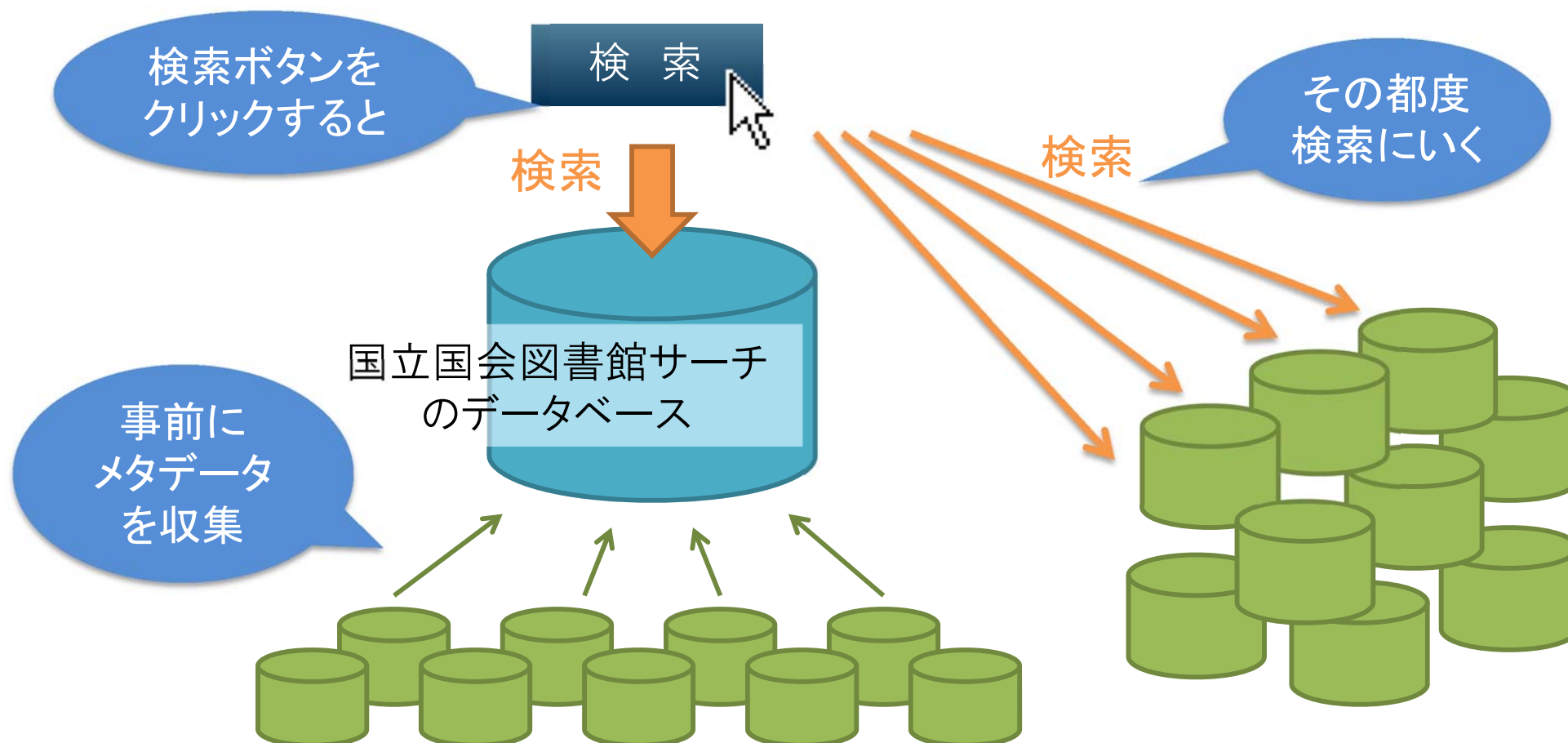
- 国立国会図書館の新しい検索サービス
 - 平成22年8月 「開発版」として試行公開
 - 平成24年1月～ 本格システムとして稼働
 - 国立国会図書館、全国の公共図書館だけでなく、様々な機関のデジタル化コンテンツ、蔵書等を統合検索（PORTA、ゆにかねっと等の後継）
 - 資料を探しやすくするための高度な検索機能を提供
 - 国立国会図書館サーチの機能・メタデータは、外部提供インタフェース（API）で提供しており、様々なシステムやウェブサービスで活用
 - 検索対象データベースは205個（2012年7月現在）

検索対象データベース



検索対象との連携方法

- 検索対象データベースとの連携方法は、“事前収集”と“その都度検索”の2種類



開発の背景

- コンセプト

- 誰でも・どこでも・気軽にお使いいただけるような検索機能
- 紙資料、デジタル化された画像、テキスト、音声、レファレンス情報等、様々な形態の情報を検索対象とし、単に検索機能を提供するだけでなく、利用者が求める形で、的確かつ迅速に、閲覧または案内できるように構築

⇒国内の各機関が持つ豊富な「知」を活用してもらうためのアクセスポイントとなることを目指す。

システムの特長

- 統合図書館システムであるNext-L Enjuをコアに、Heritrix、Hadoop、GETAssocといったOSS（オープンソースソフトウェア）を活用してシステムを構築
- メタデータの収集および配信の各種標準APIを実装
- 外部Webサービス（カーリル、twitter、ブックログ等）や他機関で行われている研究開発成果の積極的な活用
- 書誌情報の記述要素として、「国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述」(DC-NDL)を採用

⇒将来的にはNDLサーチで開発した機能をOSSとしてNext-L Enju に還元したいという思いも・・・。

国立国会図書館サーチのこれから

- ①連携するデータベースをさらに増やし、統合検索のメリットを向上させ、各機関のデータベースの可視性向上に貢献します。
- ②集約したメタデータを、APIを通じてより多くの機関に提供し、我が国におけるデータベースのメタデータ流通促進に貢献します。
- ③各種Webサービス、研究機関との連携により、研究開発成果等を活用し、より先進的で高度な検索サービスの提供実現を目指します。

皆さんと一緒に育てていきたいと考えています。
ぜひご活用ください！

<http://iss.ndl.go.jp/>



The screenshot shows the search interface of the National Diet Library. At the top, there is a logo of a book with a magnifying glass and the text "国立国会図書館サーチ". Below this, there are three tabs: "簡易検索" (Simple Search), "詳細検索" (Advanced Search), and "障害者向け資料検索" (Search for materials for people with disabilities). The "簡易検索" tab is selected. Below the tabs, there is a search bar with the label "キーワード" and a "検索" (Search) button. To the right of the search bar, there is a dropdown menu for "翻訳検索しない" (Do not search in translation) and a checkbox for "すべての連携先を検索する" (Search all linked sites). Below the search bar, there are several buttons for filtering results: "すべて" (All), "本" (Books), "記事・論文" (Articles/Papers), "新聞" (Newspapers), "児童書" (Children's books), "レファレンス情報" (Reference information), "デジタル資料" (Digital materials), "その他" (Others), and "立法情報" (Legislative information).